

平成19年12月3日  
株式会社 新生銀行  
(コード番号: 8303)

## 「新生・世界分散ファンド」のお取り扱いを開始

- スイスのプライベート・バンク「バンク・ジュリアス・ベア・アンド・シーオー・エルティディ(ジュリアス・ベア社)」が運用する2つの分配方針から選べる投資信託 -

当行は、平成19年12月3日(月)より、当行の全額出資子会社である新生インベストメント・マネジメント株式会社が設定予定の追加型株式投資信託「新生・世界分散ファンド(複利効果重視型) / (分配重視型)」のお取り扱いを開始します。当初募集期間は、平成19年12月3日(月)より12月26日(水)まで、ファンドの当初設定日は12月27日(木)です。また、12月27日(木)以降も継続募集いたします。

当ファンドの実質的な運用は、プライベート・バンク専門としてはスイスで最大規模の「バンク・ジュリアス・ベア・アンド・シーオー・エルティディ(ジュリアス・ベア社)」が行います。「ジュリアス・ベア・グループ」は、1890年の誕生以来、個人の富裕層向けビジネスに特化して成長し、その傘下にあるジュリアス・ベア社は、現在では、世界の富裕層を中心とした個人のお客さまに加え、機関投資家なども対象にグローバルに資産運用・管理ビジネスを展開しています。

「新生・世界分散ファンド」は、日本を含む世界主要先進国の債券と株式に50%ずつ均等に分散投資し、中長期的な収益の獲得を目指します。また、分配方針については、決算を年1回とし、決算の際には分配金を極力抑えることで複利運用効果を重視する「複利効果重視型」と、3ヵ月毎の決算時に基準価額の水準などを勘案しながらより積極的に収益の分配を目指す「分配重視型」の2種類の分配方針からお選びいただけます。

「新生・世界分散ファンド」は、当行が資産運用のひとつとして提案する「長期国際分散投資」を可能にする金融商品です。当行は、今後とも「長期国際分散投資」を可能にする、お客さまのニーズに合った金融商品の提供を通じて、セカンドライフの資産運用をサポートする「ベスト・マネー・アドバイザー」を目指してまいります。

詳細は別添資料をご覧ください。

以 上

## 「新生・世界分散ファンド」商品概要

名称	新生・世界分散ファンド(複利効果重視型) 新生・世界分散ファンド(分配重視型)
投信委託会社	新生インベストメント・マネジメント株式会社
ファンド形態	追加型株式投資信託 / バランス型 / 自動けいぞく投資可能
ファンドの特色	2つのマザーファンドを通じて、世界の債券と株式に原則として50%ずつ分散投資することで、中長期的な収益の獲得を目指します。 マザーファンドの運用指図に関する権限をバンク・ジュリアス・ベア・アンド・シーオー・エルティディ(ジュリアス・ベア社)に委託します。 原則として、為替ヘッジは行いません。
ベンチマーク	シティグループ世界国債インデックス* <sup>1</sup> (円換算ベース)とMSCI ワールド・インデックス* <sup>2</sup> (円換算ベース)を50%ずつ組み合わせた合成インデックスをベンチマークとします。
当初募集期間	平成19年12月3日(月)～平成19年12月26日(水)
当初設定日	平成19年12月27日(木)
継続募集期間	平成19年12月27日(木)～平成21年3月19日(木)まで 募集期間は上記継続募集期間満了前に有価証券届出書を提出することによって更新されます。
信託期間	当初設定日から原則として無期限
決算日	(複利効果重視型)年1回 毎年12月20日(休業日の場合は翌営業日) (分配重視型)3ヵ月毎 毎年3月、6月、9月、12月の各20日(休業日の場合は翌営業日)
分配方針	(複利効果重視型)原則として、元本の成長に重点を置き、分配金額は極力抑える方針です。 (分配重視型)分配金額は、基準価額の水準などを勘案しながら、原則として極力多くする方針です。 分配金は増減したり、支払われないことがあります。
お申し込み・ご解約	原則として毎営業日(販売会社の営業日であっても、受益権の取得お申し込み日あるいは換金のご請求日がチュールリットの銀行休業日の場合には、取得のお申し込みおよび換金のご請求の受付を行いません)。
お申し込み価額	取得申込日の翌営業日における基準価額とします(当初募集期間は1口あたり1円)。
ご解約価額	ご解約申し込み受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した額です。ご解約代金はご解約受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
当行取扱チャネル	店頭(新生バンクスポットを除く)、インターネットバンキング(新生パワーダイレクト)、コールセンター(新生パワーコール)
当行申込単位	1万円以上1円単位

## 【指数について】

- \*1 「シティグループ世界国債インデックス」とは、シティグループ・グローバル・マーケット・インクが開発した世界主要国の国債の総合投資利回りを各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はシティグループ・グローバル・マーケット・インクの知的財産であり、指数の算出、数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利はシティグループ・グローバル・マーケット・インクが有しています。
- \*2 「MSCI ワールド・インデックス」とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の主要国の株式指数を各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

### 〈主なリスク〉

当ファンドは、主にマザーファンドへの投資を通じて世界の債券や株式などに投資を行います。当ファンドの基準価額は、組み入れた債券・株式の値動き、為替相場の変動などの影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。運用の損益はすべて投資信託をご購入のお客さまに帰属します。また、当ファンドの主なリスクは以下のとおりです。リスクに関する詳細な情報は投資信託説明書(目論見書)にてご確認ください。

為替変動リスク 金利変動リスク 株価変動リスク 信用リスク カントリーリスク 流動性リスク

### 〈お客さまにご負担いただく費用など〉

詳細については投資信託説明書(目論見書)をご確認ください。

お客さまにご負担いただく費用の合計額などにつきましては、ファンドの保有期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

お申し込み時	
当行申込手数料 (約定金額*1に 対する料率)	申込日の翌営業日の基準価額に以下の料率を乗じた額 1億円未満 3.15% (税抜3.0%) 1億円以上3億円未満 1.05% (税抜1.0%) 3億円以上 0.525% (税抜0.5%)
信託期間中	
信託報酬	純資産総額に対して年率1.6485% (税抜年率1.57%)
その他費用	組入有価証券の売買委託手数料、外貨建資産の保管などの費用、借入金の利息、立替金の利息、監査報酬など 金額などについては、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することができません。
解約時	
解約手数料	ありません
信託財産留保額	解約申込日の翌営業日の基準価額に0.1%を乗じた額

\*1 約定金額とは、お申込金額から申込手数料および申込手数料に対する消費税などの相当額を控除した金額を指します。

### 【投資信託について】

投資信託は預金等ではなく、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本保証および利回り保証のいずれもなく、運用実績によっては投資元本を割り込むおそれがあります。

投資信託は預金等ではなく、預金保険の対象ではありません。また銀行でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

投資信託の換金については、換金お申し込み制限期間(クローズド期間)が設定されているものがあるほか、換金までに相当の期間がかかるものもあります。

当行における国内籍投資信託の換金方法は解約請求制のみであり、買取請求は行っておりません。

投資信託をお申し込みの際には、予めまたは同時に目論見書(目論見書補完書面を含みます)をお受け取りいただき、内容をご確認のうえ、お客さまご自身でご判断ください。なお、目論見書(目論見書補完書面を含みます)は、店頭やインターネット(新生パワーダイレクト)で入手いただけます。また、郵送でもお届けします。インターネット専用の投資信託の目論見書(目論見書補完書面を含みます)は、新生パワーダイレクトでのみご覧いただけます。

### 【新生インベストメント・マネジメント株式会社の概要】

新生インベストメント・マネジメントは、投資信託委託業者および投資一任にかかる業務の認可を取得し、新生銀行全額出資の運用会社として2003年4月1日に開業しました。

新生インベストメント・マネジメントは、「マネジャーズ・マネジャー」というビジネス・モデルを標榜しています。日本の投資家の皆さまのニーズに応じて、世界中から各分野で優れていると思われる運用者を探し出し、投資家の皆さまにとって最も適切と思われる形式で商品を組成し、必要に応じてそれらを適切にアロケーションして提供することを目指します。

新生インベストメント・マネジメントの運用資産残高は2007年9月末時点で、投資一任受託契約残高が約684億円、投資信託純資産総額が約2,438億円となっています。

### 【ジュリアス・ベアについて】

ジュリアス・ベアはスイス有数の専業ウェルス・マネージャーです。19世紀にまで起源をさかのぼるジュリアス・ベア・グループは個人顧客や機関投資家の資産運用と投資信託の運用・販売を専門に行っています。ムーディーズからAa3の格付けを受けているバンク・ジュリアス・ベアは、プライベート・バンキング業務とインベストメント・プロダクト部門からなっています。グループの主要な子会社は他に、アクティブ運用で世界的に著名なGAM社と、特化型ファンドと機関投資家向け資産運用に強みを持っているジュリアス・ベア・インベストメント・マネジメント(米国)があります。

SWXスイス証券取引所に上場しているジュリアス・ベア・ホールディング・リミテッドはジュリアス・ベア・グループの親会社です。ジュリアス・ベア・グループの世界的な事業展開はチューリッヒ(本社)、ブエノスアイレス、ドバイ、フランクフルト、ジュネーブ、香港、ロンドン、ルガーノ、ニューヨーク、シンガポール、東京等を含む、ヨーロッパ、北アメリカ、ラテンアメリカとアジアの30拠点以上に及びます。世界中に3,800人以上の従業員を抱える当グループは、2007年6月末現在で4,000億スイス・フラン超の預かり資産を管理しています。

詳しくは [www.juliusbaer.com](http://www.juliusbaer.com) をご覧ください。

<ご参考> スイスにおけるプライベート・バンキング会社の預かり総資産順位(上位5社)

1. UBS Wealth Management (191.1兆円)
2. Credit Suisse Private Banking (76.4兆円)
3. Julius Baer Group (35.2兆円)
4. Pictet & Cie (22.7兆円)
5. Lombard Odier Darier Hentsch & Cie (16.3兆円)

出所:

ジュリアス・ベア・グループのデータをもとに新生インベストメント・マネジメントにて作成(2006年12月末現在)  
2006年12月末時点の三菱東京UFJ銀行対顧客電信相場仲値にて換算